

まちの日記帳



音楽の癒し 「リフレッシュ学級」が開講

4/28

今年度第1回目のリフレッシュ学級「開級式・音楽療法体験」がB&G海洋センターで行われ、26人の高齢者の方々が参加しました。

今回で8回目を数え、すっかり参加者にもおなじみとなっている音楽療法士の近藤ひとみさんを講師に招いた講話は今年も大好評、参加者の皆さんには民謡や春の季節にちなんだ歌を歌ったり、音楽クイズで楽しんだり、太鼓や鳴子などのほか、見慣れない珍しい楽器の演奏をしたりと、近藤さんの軽快なお話に乗せられながら賑やかに楽しんでいました。



輪禍のないまちを願って 交通安全街頭啓発を実施

5/2

商工会女性部（葛西幸子部長）が美国町内の国道で街頭啓発を行い、同部手作りの交通安全祈願のお守り計100個を手渡ししながら交通安全への協力をドライバーへ呼びかけました。

今後、本格的な観光シーズンの幕開けとなり、交通量の増加が見込まれますが、観光客の皆さんには一件の輪禍も発生させずに積丹町の美しい景色や素晴らしい食を楽しんで帰ってほしいものです。

長年続けていただいている同部の皆さんの交通安全運動に感謝申し上げます。



積丹の“味覚”を伝える なまらうまいっしょGP

5/13 ~ 5/15

5月13日から5月15日の3日間、札幌ドームオーブンテラスで北海道日本ハムファイターズ北海道179市町村応援大使企画として「なまらうまいっしょ！グランプリ」が開催され、積丹観光協会（佐藤勝次会長）が出店し、ざんぎや水産加工品等の販売を行いました。

この企画は2016年応援大使が就任している18市町村が各市町村自慢のグルメでエントリーし、来場者の投票によって優勝者を決めるもので、積丹町は惜しくも優勝を逃ましたが、積丹町自慢の“味”を多くの来場者に楽しんでいただくことが出来ました。



自然の恵みを味わう 少年教室「春の山菜採り」

5/14

積丹町野外スポーツ林スキー場で橋場政男町山岳愛好会会長と佐藤多美子北海道フードマイスターのお二人を講師に招き、第1回少年教室「春の山菜採り」が開催され、小学生や保護者等29人が参加しました。

橋場講師からの「山菜は育つのに時間がかかるので、むやみに採取せず、資源を守ることが重要」というアドバイスを守りながら参加した小学生は、タケノコやウド等を一生懸命採取していました。

その後、佐藤講師の指導で採取した山菜で天丼を調理、参加者は自ら採取した自然の風味を楽しんでいました。



まちづくり活動の成果は まちづくり支援事業報告会

5/17

町が町民の皆さんの自主的な町づくり活動を支援する「まちづくり活動支援事業補助金」の平成27年度実施事業の報告会が総合文化センターで実施されました。

この日報告が行われたのは【地域づくり支援事業（ソフト事業）】5件と【まちづくり支援事業（ハード事業）】2件で、参加者はそれぞれが実施した事業の成果を熱心に説明していました。

また、町では平成28年度第2回分の「まちづくり活動支援事業補助金」申込みを7月25日まで受け付けています。活用を検討されている方は、ぜひ、各担当課までご相談ください。



ゴミの無いまちは自分達で 美国婦人会が清掃活動を実施

5/20

雪もすっかり解け、雪に隠れていたゴミが散見されるこのシーズン、美国婦人会（魚屋友子会長）は町内の清掃活動を行いました。

この日の清掃活動には同会から20人が参加し、火バサミなどを片手に約2時間かけて熱心にゴミを拾い集めました。

毎年、このような活動を続けて下さっている美国婦人会の皆さんに感謝を申し上げるとともに、このような地域のコミュニティ活動が今後更に広がっていくことを期待しています。



まちの日記帳